

2022 年 4 月入学

東京農業大学大学院 生物産業学研究科 学生募集要項

目 次

研究科目的	1
入学者受入方針（アドミッションポリシー）	1
1. 入試制度	3
2. 入学試験日程	3
3. 入学定員・募集人員	4
4. 出願資格	4
5. 出願手続	6
6. 選抜方法及び試験科目	8
7. 試験時間・会場	9
<各入試制度の共通事項>	
8. 合格発表	9
9. 入学手続	10
10. 学費	11
11. 大学院奨学生制度	12
12. 長期履修制度	13
13. 出願資格認定	13
14. 個人情報保護について	14

※新型コロナウイルスの影響により、試験日程・内容等に変更が生じた場合は、東京農業大学ホームページ「お知らせ」にて掲載いたします。

出願にあたっての重要事項

出願を希望する方は、出願に先立ち必ず希望指導（准）教授と面談し、今後の研究計画及び研究内容について相談をしてください。各教員のメールアドレスについては以下を確認してください。

出願にあたって <http://www.nodai.ac.jp/nodaigs/admission/application/>

生物産業学研究科目的（大学院学則より抜粋）

本大学院生物産業学研究科は、幅広い学問領域の知識を備え、高度な専門知識と能力及び創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ人材の育成を目指し、生物産業学に関する実学の精神と文理融合の教育体系に基づき、北方圏の地域性を活用した農林水産に関わる生物資源、バイオテクノロジー、経営経済分野の教育・研究を行うことを目的とする。

入学者受入方針（アドミッションポリシー）

【大学院】

東京農業大学大学院は、農学あるいは生物産業学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における基礎的または高度な問題を自立的に解決できる人材を育成します。このために、本大学院では次のような学生を求めています。

〔博士前期課程・修士課程〕

- （１）希望する専攻分野における四年制大学修了程度の学力を有している。
- （２）国内外における科学・技術を理解するための語学力を有している。
- （３）豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- （４）希望する専攻分野に対する強い関心、研究者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識、学修に対する強い意欲を有している。

〔博士後期課程〕

- （１）希望する専攻における大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。
- （２）国内外における科学・技術を理解し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有している。
- （３）研究者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- （４）研究者・教育者あるいは高度な専門家として、国際的にも社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。

【生物産業学研究科】

生物産業学研究科博士前期課程は、生物資源・自然資源の宝庫であるオホーツク地域での実践的な教育研究により、原料生産はもとより加工や流通・ビジネスの分野において社会に貢献できる人材を養成します。そのため、本研究科では、次のような学生を求めています。

- （１）生物産業学の当該専攻における学修が可能となる四年制大学卒業程度の学力を有している。
- （２）国内外における科学・技術を理解するための語学力を有している。
- （３）豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- （４）当該専攻分野に対する強い関心、研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識、学修に対する強い意欲を有している。

生物産業学専攻博士後期課程は、生物資源・自然資源の宝庫であるオホーツク地域での実践的な研究により、自然科学と社会科学に造詣を持ち、研究において国際的なリーダーとなり得る研究者を養成します。そのため、本専攻では、次のような学生を求めています。

- (1) 生物産業学の当該専攻における大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外における科学・技術を理解し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有している。
- (3) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として国際的に社会貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。

【北方圏農学専攻】

〔博士前期課程〕

北方圏農学専攻博士前期課程は、北方圏の動植物資源の利用と生物資源の開発、北方圏生態系の保全、それらを活用する先進的なバイオテクノロジーを題材とする実践的な教育研究により、自然と調和した持続的な循環社会の発展や生活の質の向上に貢献できる人材を養成します。そのため、本専攻では、次のような学生を求めています。

- (1) 生物生産学における学修が可能となる四年制大学卒業程度の学力を有している。
- (2) 国内外における生物生産関連分野の知見を理解するための語学力と、研究を記述するための基礎的な文章表現力を有している。
- (3) 実験や調査などの日々の研究活動において、研究室の仲間や共同研究者あるいは地域の人々と和して協力する姿勢と、それを可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 北方圏における生物生産を題材とする本専攻の特色を理解し、自然に対する科学的探究心と学修意欲を有し、研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識と問題解決に向けた強い意欲を有している。

【海洋水産学専攻】

〔博士前期課程〕

海洋水産学専攻博士前期課程は、水産資源の宝庫であるオホーツク水圏での実践的な教育研究により、水圏の生物学、生態学および環境学に基づき、水産資源生物の保全や増養殖の分野において社会に貢献できる人材を養成します。そのため、本専攻では、次のような学生を求めています。

- (1) 本専攻における学修が可能となる水産系四年制大学卒業程度の専門科目に関する基礎学力およびその応用能力を有している。
- (2) 国内外における科学・技術を理解するための語学力と、専門領域における最新の知見を自ら積極的に得る努力ができる能力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力と自らの意志を適切に表現できる能力を有している。
- (4) 水圏における生物や生態系、これを取りまく環境などに対する強い関心を有し、本専攻分野の研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識、学修に対する強い意欲を有している。

【食香粧化学専攻】

〔博士前期課程〕

食香粧化学専攻博士前期課程は、北海道の豊かな生物資源を利用して社会全体の QOL（生活の質）を向上させることを目的とし、食品や香粧品に関する基礎研究と製造・開発、さらにそれらの安全性の検証に挑戦できる人材を養成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 研究および開発を行うにあたり、自ら積極的に行動するという意欲を有している。
- (2) 問題意識をもって研究を計画し、研究成果を論理的に考察して自分の考えをまとめ、適切に他者に伝える能力を有している。
- (3) 食品香粧学を学び、研究を行うにあたり、有機化学、食品化学、香粧品科学、生物科学、微生物学等において、必要な知識および技能を有している。
- (4) 食品香粧分野の最新動向および研究に強い関心を持ち、多様な人々と協働して学ぶことができる。

【自然資源経営学専攻】

【博士前期課程】

自然資源経営学専攻博士前期課程は、社会科学分野から地域資源を活用して多様な発展を遂げている地域生物産業を担う企業や関連産業・地域企業および地域社会の持続的発展とそのための問題解決ができる人材を養成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 経営学、会計学、マーケティングならびに経済学、そして情報処理・管理学、農学等の社会科学的分野における四年制大学卒業程度の学力を有している。
- (2) 地域生物産業や地域社会に関連する研究テーマに積極的かつ意欲的に研究に取り組む強い欲を有している。
- (3) 健全な人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有し、協働して課題解決にあたることができる。
- (4) 本学の教育理念である実学主義のもと、高度な専門知識を修得し、将来、地域や組織の持続的な発展に貢献したいという強い意志を有している。

【生物産業学専攻】

【博士後期課程】

生物産業学専攻博士後期課程は、生物資源・自然資源の宝庫であるオホーツク地域での実践的な研究により、自然科学と社会科学に造詣を持ち、研究において国際的なリーダーとなり得る研究者を養成します。そのため、本専攻では、次のような学生を求めています。

- (1) 生物産業学の当該専攻における大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外における科学・技術を理解し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有している。
- (3) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として国際的に社会貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。

学位授与方針(ディプロマポリシー)

東京農業大学大学院のディプロマ・ポリシーについては本学大学院ホームページ(<https://www.nodai.ac.jp/nodaigs/>)の「大学院について」→「教育研究上の目的・目標ならびに3方針」から、必ず確認してください。

1. 入試制度 (4月入学)

【一般入試】2022年度1期入試 / 2022年度2期入試

【特別入試】2022年度社会人特別選抜入試 (募集は一般入試1期2期入試と同じ)

2. 入学試験日程

(1) 一般入試・社会人特別入試 2022年4月入学(1期・2期)

入学時期	検定料振込期間	出願書類提出期間	入学試験日	合格発表	入学手続
2022年 4月入学	1期 2021年 8月18日(水) ～27日(金)	2021年8月23日(月) ～27日(金) 最終日必着	2021年 9月11日(土)	2021年 9月17日(金)	2022年 3月1日(火)～7日(月) 最終日必着
	2期 2022年 1月7日(金) ～14日(金)	2022年1月12日(水) ～14日(金) 最終日必着	2022年 1月29日(土)	2022年 2月4日(金)	

◎出願資格認定に関わる日程等についてはp13「1.3. 出願資格認定」をご確認ください。

3. 入学定員・募集人員

課程	専攻	入学定員	入試制度区分・募集人員		
			一般入試		特別入試
			1期	2期	社会人
博士前期	北方圏農学専攻	7名	6名	1名	若干名
	海洋水産学専攻	5名	4名	1名	
	食香粧化学専攻	5名	4名	1名	
	自然資源経営学専攻	3名	2名	1名	
博士後期	生物産業学専攻 (農学分野・経営学分野)	8名	5名	3名	若干名

4. 出願資格

(1) 一般入試

次の各号のいずれかの資格を有するもの。又は、2022年3月までに学位取得見込の者。

【博士前期課程】

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- ※(9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に入学させる本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると当該研究科等が認めた者
- ※(10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者
- ※(11) 大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、当該研究科等の定める単位を優秀な成績で修得したと認めた者

【博士後期課程】

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- ※(6) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者

※に該当する場合は、出願前に出願資格認定試験を受ける必要があります。詳細はp.13を参照してください。

(2) 社会人特別選抜入試

募集専攻	出願資格
全専攻	博士前期課程…企業等に1年以上勤務した者で次の要件をいずれも満たす者。 ① 大学を卒業した者 ② 企業等において志望専攻の専門分野に関する実務経験を原則として持っている者。
	博士後期課程…大学・研究所等に2年以上研究に従事し、所属長の推薦を受けた者で次のいずれかに該当する者。 ① 修士の学位または専門職学位を有する者。 ② 文部科学大臣の指定した者。

※ 社会人特別選抜入試で入学した場合、大学院奨学生の対象外となります。

5. 出願手続

出願書類は、市販の角型2号（240×332 ミリ）封筒に入れ、出願用封筒貼付ラベル*を貼付して、**簡易書留郵便・速達**で郵送、もしくは生物産業学部学生教務課窓口（9:00-17:00）へ提出してください。出願手続き完了後、受験票及び試験会場の案内を受験者宛に郵送します。検定料の支払い、書類提出のいずれか一方でも出願期間を過ぎたり不備があったりする場合は受付できません。また、出願手続後はいかなる事情があっても書類の変更及び検定料の払戻しは行いません。

	出 願 書 類	一般 入 試	特別 入 試	備 考
			社会人	
1	出願書類確認票（様式1）*	○	○	
2	入学志願票(1)(2) （様式2-1、様式2-2）*	○	○	様式2-1、様式2-2のどちらも提出すること。
3	履歴書（様式3）*	○	○	学歴欄は高校以上。本学の卒業/修了（見込）者以外の外国人志願者は、小学校相当以上。
4	入学志願者調書（様式4）*	○	○	希望する指導（准）教授の確認印がない場合は受験不可。 海外居住者は、希望指導（准）教授から送付された受入れ許諾に関するメール文面等の印刷物を、確認印の代わりとして提出することも可。
5	卒業/修了（見込み）証明書	○	○	日本語又は英語。
6	成績証明書	○	○	日本語又は英語であり、願書受付日前3ヵ月以内に発行された原本。
7	検定料振込用紙/受験票（A票：提出用）（様式5）*	○	○	金融機関窓口（ATM）またはインターネットバンキングに入学検定料は30,000円を指定口座に振り込んでください（振込手数料は受験者負担）。 ※振込依頼人名は、受験者名で振り込んでください。 ※振込完了が確認できるものを貼付してください。
8	返信用封筒（受験票送付用）	○	○	市販の長形3号（120×235ミリ）に84円分の切手を貼り、 <u>日本国内</u> の確実に届く住所を記載。
9	研究計画書（様式6）*	—	○	
10	研究業績書（様式7）*	—	○	社会人特別選抜入試は博士後期課程志願者のみ提出。
11	大学院出願資格認定書のコピー	△	△	出願資格認定試験を受けた者のみ。
12	学歴認証報告書（英語版）	△	△	中華人民共和国の教育機関出身の者のみ。
13	パスポートコピー貼付書 （様式9）*	△	△	外国人志願者のみ。顔写真のページのコピーを貼付。
14	日本語能力に関する証明書のコピー <u>※必須ではない</u>	△	△	外国人志願者のみ。日本語能力試験認定書、日本語学校等が証明する日本語の学力証明書等。

○印は必須、△印は該当者のみ

*本学所定様式（以下からダウンロード・A4片面印刷）

募集要項・出願様式 <http://www.nodai.ac.jp/nodaigs/admission/form>

外国の大学の証明書を提出する場合の注意事項

(1) 外国における出身学校（最終学歴）が発行したもので、レターヘッド（用紙の上部に学校名、住所、電話番号）のある専用用紙に次の内容が記載されたもの（成績証明書は入学時から最近までの成績が記載されているもの）。

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1) 氏名（パスポートと同一のもの） | 4) 卒業（修了）年月* |
| 2) 生年月日*（パスポートと同一のもの） | 5) 取得学位名* |
| 3) 入学年月* | 6) 証明書発行日* |

*西暦で記載のこと

(2) 各種証明書は日本語又は英語のもののみ受け付けます。その他の言語で作成されている場合、英語又は日本語に翻訳のうえ、公的機関等（出身学校・大使館等）で原本と相違ない旨の証明を受けてください。また、インターネットを経由して入手した証明書やカラーコピーで印刷されたものは原則として受理しません。

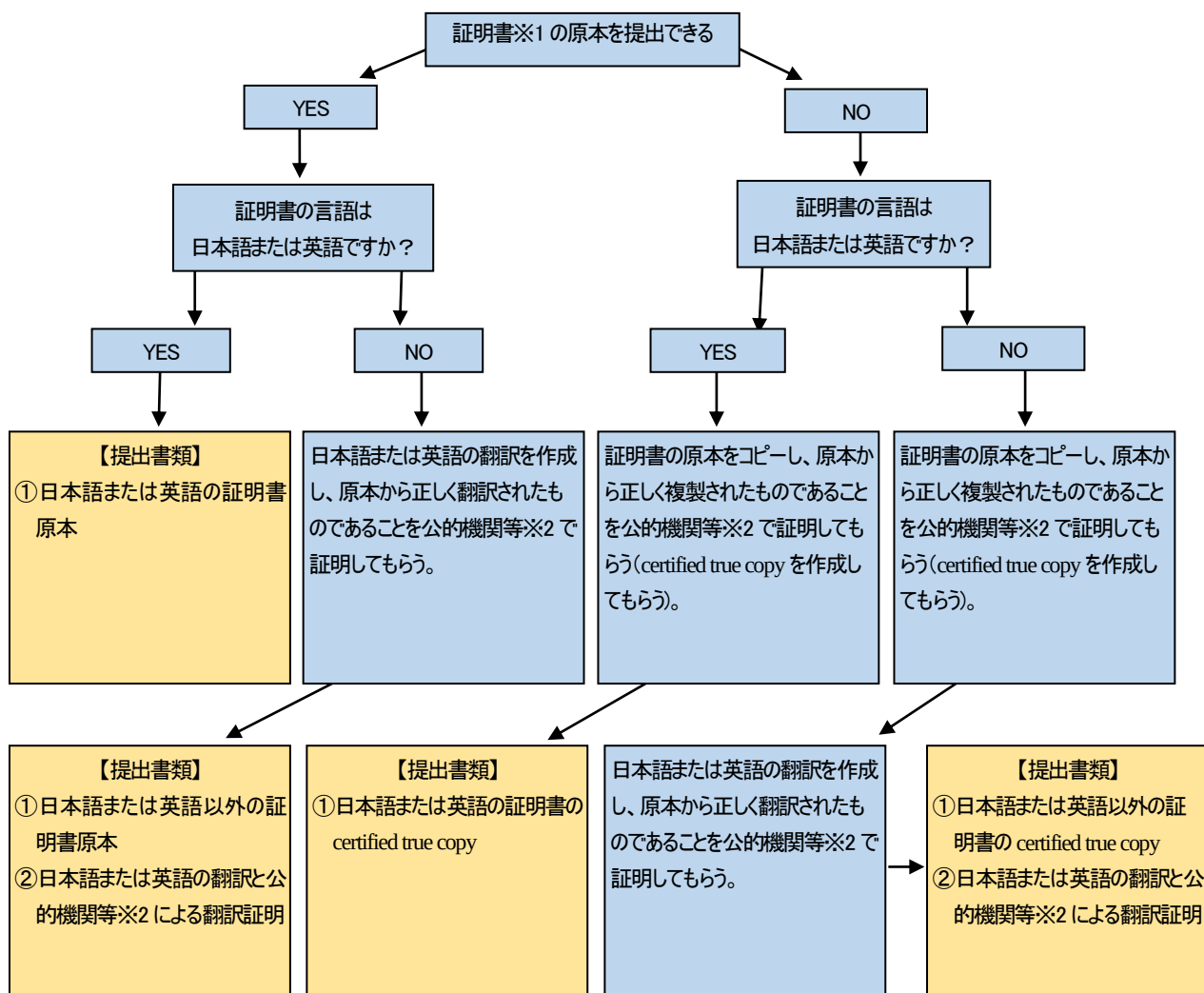
(3) 原本が提出できない場合、公的機関等※2で certified true copy を作成してもらい、提出してください。

(4) 1つの書類が2枚以上になる場合は、発行元において結合されているか、すべてに氏名と公印が必要になります。

(5) 中華人民共和国の教育機関出身の場合は、学歴認証報告書（英語版）提出してください。

中国学歴・学籍認証センター（CHSI） <https://www.chsi.com.cn>（中国語）

中国学歴・学籍認証センター（CHSI）日本代理機構 <http://www.chsi.jp>（日本語）



※1 証明書及び証書含む

※2 『公的機関等』とは、大使館や出身学校、CHSI 等を含む。

6. 選抜方法及び試験科目

入試制度	選抜方法
一般入試	筆記試験（下記の「★一般入試筆記試験科目表」を参照）、口述試験、出身学校の成績等により選抜。
社会人特別選抜入試	【博士前期課程】 筆記試験（外国語（英語））・小論文、口述試験により選抜。 【博士後期課程】 筆記試験（外国語（英語））、口述試験（研究業績書及び研究計画書に基づく内容、研究計画に関するプレゼンテーション及び専門知識に関する質疑応答含む）により選抜。

★一般入試 筆記試験科目表（筆記試験の他、口述試験を実施）

博士前期課程

専攻	外国語※1	専 門 科 目	口述試験（面接）
		選択科目	
北方圏農学	英 語	植物資源生産学、植物細胞生理学、植物資源保全学 動物資源保全学、動物資源生産学、動物バイオテクノロジー のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。	有
海洋水産学	英 語	水産増殖学、水圏生物学、水圏生産科学 水圏生態学、水圏環境学、水産資源学 のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。	有
食香粧化学	英 語	食品加工学、食品化学、 生物化学、応用微生物学、生物有機化学 のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。	有
自然資源経営学	英語（経営学・経済学）、英語（農業経営学・農業経済学） から選択する。	経営学、経済学 のうちから1科目を選択する。 地域産業論、会計学、情報処理論、環境経済学 のうちから1科目を選択する。	有

※1 外国語を「英語」以外で受験する場合は必ず各専攻に問合せてください。外国語を「日本語」で受験できるのは外国人留学生のみです。

※2 外国語を「英語」で受験できるのは、英語を第一言語としない者のみです。外国人留学生でも英語が第二言語・第三言語等の者は「英語」で受験できます。

博士後期課程

専攻	外国語※1	専 門 科 目	口述試験（面接）
生物産業学 （農学分野）	英 語	作物生産管理学、動物栄養学、生物資源学、生物工学 水産増殖学、水圏生態学、水産生物学、水圏環境学 食品開発加工学、生物有機化学、生物化学、応用微生物学 のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。	有
生物産業学 （経営学分野）	英 語	経営学、経済学、農業経営学、農業経済学、情報処理 のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。	有

※1 外国語を「英語」以外で受験する場合は必ず各専攻に問合せてください。外国語を「日本語」で受験できるのは外国人留学生のみです。

※2 外国語を「英語」で受験できるのは、英語を第一言語としない者のみです。外国人留学生でも英語が第二言語・第三言語等の者は「英語」で受験できます。

社会人特別選抜試験 試験科目表

課程	専攻	外国語※1	小論文	口述試験（面接）
博士前期	北方圏農学 海洋水産学 食香粧化学 自然資源経営学	英 語	有	有
博士後期	生物産業学（農学分野・経営学分野）	英 語	—	有

※1 外国語を「英語」以外で受験する場合は必ず各専攻に問合せてください。外国語を「日本語」で受験できるのは外国人留学生のみです。

※2 外国語を「英語」で受験できるのは、英語を第一言語としない者のみです。外国人留学生でも英語が第二言語・第三言語等の者は「英語」で受験できません。

7. 試験時間・会場

試験当日は受験票を必ず持参してください。受験日の3日前になっても受験票が届かない場合は生物産業学部学生教務課に連絡してください。

（1）試験時間（予定）

試験開始（口述試験は集合時間）後、30分以内に指定の会場に入室できない場合、それ以降の試験は原則受験できません。

入試制度	集合時間等
一般入試	集合時間：8時30分（試験会場は8時00分開場）試験開始時間：9時00分
社会人特別選抜入試	集合時間：8時30分（試験会場は8時00分開場）試験開始時間：9時00分

※時間は変更する場合がありますので、必ず受験票郵送時の案内を確認してください。

（2）試験会場

北海道オホーツクキャンパス 北海道網走市八坂 196

※試験時間、試験教室等の詳細は受験票郵送時に同封します。

<各入試制度の共通事項>

8. 合格発表 東京農業大学大学院ホームページに掲載します。

(1) 発表日程

合格発表の日時については p3 を確認してください。

(2) 合格通知及び入学手続書類の配付

本学に在学中の受験生及び本学に研究生として在籍中の受験生は、生物産業学部学生教務課に受け取りに来てください。その他の方には記載された送付先に郵送します。

【1期入試合格者】合格通知配付期間 9月21日(火)～24日(金)(窓口業務時間内)

【2期入試合格者】合格通知配付期間 2月7日(月)～10日(木)(窓口業務時間内)

※1期入試合格者の入学手続書類は、2期入試合格者の配付(送付)と同日とします。

9. 入学手続

(1) 入学手続期間 2022年3月1日(火)～7日(月) 最終日必着

※期間中に学費納入、書類提出がない場合は、入学を許可しません。

※郵送の場合は、簡易書留・速達で送付してください(最終日必着)。

※窓口受付時間は 9時から17時までです。

(2) 学費の納入期間 2022年3月1日(火)～3月7日(月)

(3) 入学手続提出書類

入学手続書類は、入学手続書類送付用宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒により、郵送もしくは生物産業学部学生教務課の窓口へ提出してください。

①入学手続書類確認票

②誓約書

③新入生個人調査票

④学生証用写真貼付用紙

⑤銀行の領収印のある入学金等振込金連絡票

⑥本籍地記載の住民票、又は戸籍個人事項証明書(戸籍抄本)

※外国人の場合は国籍、在留資格及び在留期間が記載された住民票。

※手続期限から3ヵ月以内に発行されたもの。

⑦卒業(修了)証明書(本学の卒業・修了生、及び出願時に提出済の方は必要ありません)

(4) 入学辞退について

入学を辞退する場合は生物産業学部学生教務課に申し出のうえ、「入学辞退届」を提出してください。入学手続完了後に入学を辞退する場合は、入学金を除く納入金を返還しますので、速やかに生物産業学部学生教務課に申し出て、「入学金を除く納付金返還請求書」を入手して2022年3月31日(木)17時(必着)までに提出してください。

10. 学費 (2022 年度 4 月入学生納付金)

大学院奨学制度については次項を参照してください。

項目 課程・専攻		大 学 納 付 金					その他の 諸会費	総 計
		入学金	授業料	実験及び演習費	整備拡充費	学生厚生費		
博士前期課程	北方圏農学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
	海洋水産学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
	食香粧化学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
	自然資源経営学専攻	270,000	660,000	135,000	180,000	20,600	20,000	1,285,600
博士後期課程	生物産業学専攻（農学分野）	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
	生物産業学専攻（経営学分野）	270,000	760,000	178,000	180,000	20,600	20,000	1,428,600

備考 1. 大学納付金の消費税は非課税。

2. その他の諸会費の内訳は、(1) 農友会費 1 万円、(2) 教育後援会費 1 万円。

【参考】2022 年度入学生の次年次以降、納付する学費等について（予定）

（博士前期課程は引き続き博士後期課程に進学した場合を含む）

年度 課程・専攻		2022 年度				2023 年度			
		年次	授業料	実験及び演習費	整備拡充費	年次	授業料	実験及び演習費	整備拡充費
博士前期課程	北方圏農学専攻	2	710,000	320,000	190,000				
	海洋水産学専攻	2	710,000	320,000	190,000				
	食香粧化学専攻	2	710,000	320,000	190,000				
	自然資源経営学専攻	2	710,000	155,000	180,000				
博士後期課程	生物産業学専攻（農学分野）	2	810,000	320,000	210,000	3	860,000	320,000	190,000
	生物産業学専攻（経営学分野）	2	810,000	178,000	180,000	3	860,000	178,000	180,000

備考

1. 本大学院博士前期課程から博士後期課程へ継続して進学する場合。①入学金不要②整備拡充費は博士前期課程 2 年次と同額
2. 2 年次以降の学生厚生費及びその他の諸会費は入学年次の金額と同額。
3. 留年生（原級、復学を含む）の授業料、実験実習演習費は、その在籍する該当年次生の入学時に定められた金額を適用する。
4. 大学院奨学生制度は次項を参照。

※詳細は大学院ホームページ『学費・奨学生制度』をして確認ください。

学費・奨学生制度 <http://www.nodai.ac.jp/nodaigs/life/entrance-fee/>

1 1. 大学院奨学生制度

本大学院には人物、学業ともに優秀な学生に対し、経済援助を行うことにより、学術研究の奨励と有為な人材育成に資することを目的に大学院奨学生規程が制定されています。

大学院奨学生規程の概略は次のとおりです。

※社会人特別選抜入試による入学者は大学院奨学生制度の対象となりません。(大学院奨学生規程第7条の2及び学びて足らざるを知る奨学生規程第2条の5)

◎東京農業大学大学院奨学生

(1) 第一種奨学生

- ①博士前期課程・修士課程及び博士後期課程在籍者を対象とします。
- ②奨学金額は授業料の2分の1及び整備拡充費の2分の1でその相当額を免除することによって支給します。
- ③奨学金支給期間は博士前期課程及び修士課程2年間、博士後期課程3年間とします。ただし長期履修生にあっては、入学時に定めた履修期間とします。
- ④奨学生の採用人数は該当者全員とします。
- ⑤外国人留学生は文部科学省国費留学生又は他機関からの留学費受給者以外の者とします。

(2) 第二種奨学生

- ①東京農業大学学部卒業者であって大学院に入学した者とします。
- ②奨学金額は入学時入学金を免除することによって支給します。
- ③奨学生の採用人数は該当者全員とします。

(3) 第三種奨学生

- ①博士前期課程及び修士課程の私費外国人留学生で、成績及び人物優秀かつ経済的に修学困難な者とし、東京農業大学学部を卒業した者又は海外協定校を卒業した者を対象とします。
- ②奨学金額は入学金、授業料及び整備拡充費の全額相当額を免除することによって支給します。
- ③奨学金支給期間は博士前期課程及び修士課程2年間、博士後期課程3年間とします。ただし長期履修生は、入学時に定めた履修期間とします。
- ④奨学生の採用人数は当該専攻の入学定員の2分の1以内とします。
- ⑤外国人留学生は文部科学省国費留学生又は他機関からの留学費受給者以外の者とします。

◎東京農業大学大学院／学びて後足らざるを知る奨学生

- ①東京農業大学学部にて4年以上在学(編入学者は東京農業大学短期大学部の在学期間を含む。)して卒業し、本学大学院博士前期課程及び修士課程を修了し、本学大学院博士後期課程に在学している者とします。
- ②本奨学金の趣旨を理解し、本学の実学教育研究の担い手となる教員や研究者等の後継者を志す者とします。
- ③人物及び学業成績が優秀な者とします。
- ④奨学金額は入学金、授業料及び整備拡充費の全額相当額を免除することによって支給します。
- ⑤奨学金支給期間は3年間を限度とします。ただし長期履修生は、入学時に定めた履修期間を限度とします。

※奨学生の注意事項

- ①奨学生は休学・退学する、又は除籍されると資格を失うので注意してください。
- ②奨学生の継続は、毎年審査のうえ、決定します。成績不良の者・素行不良の者・懲戒処分を受けた者は資格を失うことがあるので注意してください。
- ③第一種奨学生と第二種奨学生は重複することがあります。

1 2. 長期履修制度

本学では、職業等に就事しながら学習を希望する者等に対する学習機会の一層の拡大を行うことで、社会人学生等の入学促進と大学院教育及び研究の多様化を図るために長期履修制度を実施しています。希望者は、あらかじめ指導教員に相談した上で、出願書類と併せて長期履修関連書類を出願期間内に提出してください。長期履修関連書類は生物産業学部学生教務課で配布していますので、事前に問合せてください。

(1) 出願資格

下記のいずれかに該当する者とします。

- ① 企業等の常勤の職員又は自ら事業を行っている者
- ② 協定締結されたダブルディグリープログラムを希望する者
- ③ 他機関が実施する事業・プログラムへの参加を希望する者
- ④ その他、長期履修することが必要と認められた者

(2) 履修期間 ※一旦許可された履修期間は変更できません

博士前期課程：4年以内

博士後期課程：6年以内

(3) 学費

標準修業年限分の学納金に相当する額を、長期履修期間に応じて分割納付となります。

1 3. 出願資格認定

本学大学院入学試験に出願する前に、出願資格を有しているかを p. 4, 5 で必ず確認してください。出願資格のうち、博士前期課程の(9)(10)(11)、博士後期課程の(6)により出願を希望する場合は、事前に出願資格認定を受けてください。

【博士前期課程・修士課程】(p. 4 より抜粋)

- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に入学させる本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると当該研究科等が認めた者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの
- (11) 大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、当該研究科等の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

【博士後期課程】(p. 5 より抜粋)

- (6) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者

出願資格認定を希望する場合は、生物産業学部学生教務課に申し出て書類を受け取り、提出書類を期間内に提出してください。

なお、出願資格認定試験は専攻ごとに実施しますので、試験日等は専攻に問合せてください。

(1) 提出書類

- 1) 出願資格認定試験申込書（本学所定様式）
- 2) 履歴書（本学所定様式）
- 3) 最終学歴証明書
- 4) 最終学歴成績証明書
- 5) 返信用封筒（資格認定結果通知送付先宛名を記載し、返信用切手 84 円分を貼付のこと

※博士後期課程志願者のみ 6～8 も提出

- 6) 研究計画書（本学所定様式）
- 7) 研究業績書（本学所定様式）
- 8) 推薦書（本学所定様式）

※「最終学歴証明書（卒業証明書）」「最終学歴成績証明書」は書類受付日前 3 ヶ月以内に発行されたものに限りです。

※外国の大学・大学院で発行された証明書については p.9 を確認してください。

※書類受理後はいかなる事情があっても書類の変更は受け付けません。

(2) 出願書類の提出について

市販の角型 2 号（240×332 ミリ）封筒の表に本学所定様式『出願用封筒貼付ラベル』を貼付して、**簡易書留郵便・速達**で郵送（最終日必着）、もしくは生物産業学部学生教務課窓口（9:00-17:00）へ提出してください。

2022 年 4 月入学 1 期入試：2021 年 6 月 28 日（月）～7 月 1 日（木）

2022 年 4 月入学 2 期入試：2021 年 11 月 15 日（月）～18 日（木）

(3) 資格認定結果の通知

結果については、申請者宛に郵送により通知します。

同封の「大学院出願資格認定書」は出願の際に必要なとなりますので、大切に保管してください。

1 4. 個人情報保護について

本学では個人情報の取扱いについて、「学校法人東京農業大学個人情報保護方針」及び「学校法人東京農業大学個人情報保護規程」に則り、適正な取扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じています。また、本学で取り扱う個人情報は、教育研究及び学生の支援等に必要な業務を遂行するために利用し、当該の目的以外での使用はしません。なお、詳細については東京農業大学ホームページをご参照ください。

問い合わせ

業務は大学指定の休日を除く月～金の 8:30-17:00

<北海道オホーツクキャンパス>

生物産業学部学生教務課

〒099-2493 北海道網走市八坂 196

☎0152-48-3813